

南星JVC (なんせいジュニアバレーボールクラブ)

みんなで助け合い、星のように輝きます！



▶一致団結！メンバーみんな
で頂点を掴むぞ！！

南星JVCは、子ども達ひとりひとりが、星のように輝けるクラブを目指し、旧南部小学校体育館で活動しています。

メンバーは小学2年生から6年生までの男子3人、女子9人。週3日の練習に励んでいます。

今年の多久市小学生バレーボール大会では優勝、小城多久地区の交流戦では3位と好成績を収め、メンバーには“自信”ができました。

練習では、「こーい！」「1本とるぞ〜！」と大きな声がひびきわたり、全力でボールを追いかけます。学年や男女の関係なく、みんな仲良し！上級生が下級生に教えるところもあります。ミスをしていても責めることなく、みんなで励ましあい、“本当の仲間”の姿がここにはあります。

監督の片淵文昭さんは「バレーボールがうまくなることも大切ですが、それ以外の何かを学ぶことも大切にしたい」と話されました。

毎週水曜日・木曜日の17時30分～20時、土曜日の9時～13時に旧南部小学校体育館で練習しています。ぜひ一度見学に来てください。



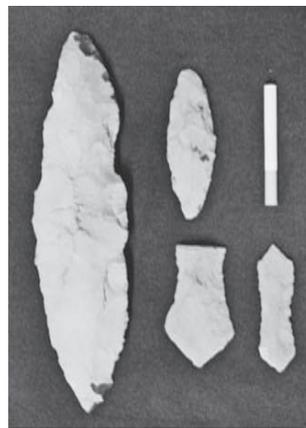
問 片淵文昭 ☎090-1169-2400

●連載32● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

石器の材料 サヌカイト

南多久町から多久町の広い範囲で、サヌカイト（讃岐石）という石が産出します。サヌカイトは固く、鋭く割れるため、石器の材料として使われていました。そして、多久市内には旧石器時代とみられる遺跡が約40か所も発見されており、中でも三年山遺跡、茶園原遺跡は旧石器時代の遺跡としては九州で初めて学術調査が行われ、学史に名をとどめています。

これらの遺跡からは大量の石器や剥片（石のかけら）が出土しました。多久では大量の石器が生



▲多久町茶園原遺跡と山王遺跡から出土した尖頭器

産されていましたが、多久産の石器は他の地域ではほとんど見つかりません。しかし、大量の石器を多久だけで消費していたとは考えにくく、多久で作られた石器はどのように流通したのか、大きな謎となっています。

多久市郷土資料館・歴史民俗資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9時～16時 入館料 / 無料

休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

市民文芸

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

畔走る野火の如くに彼岸花
夕陽を浴びて赤あかと燃ゆ
川浪 信子

亡き父の無言の教え壁に掛かる
二宮尊徳、ミレーの「晩鐘」
浦野 嘉恵

夏すぎて仕舞い忘れし風鈴の
音色さびしき秋のおとずれ
梶原恵美子

田楽の味噌に生姜を擦り込めば
なすびの味が酒をひき立つ
本村 則子

長年の献身の夫逝かしめし
友よ虚脱を抱きて休め
尾形 節子

俳句

《俳句 あざみ句会 互選》

すこやかを謝す秋日和夫と居て
田中あつ子

秋深し木漏れ日の中孔子廟
中尾 和弘

もぎたての柿に残れる日の匂ひ
中嶋 清子

落葉焚き煙を潜り遊ぶ子等
武富りつ子

日溜まりに猫の包まる 石路の花
大石ひろ女

川柳

《多久市川柳会 互選》

ほめ上手 瞳輝く子を育て
高塚チカ子

コスモスとバルーンで染まる
佐賀平野

紅筆に重い心をうすくのせ
古賀ちひろ

愛してる重い言葉が不意に出る
大谷 和

遊歩道メタボとスリムすれ違う
西山 残月

東島すみ子